

604
351

604-351
1200501531554

本邦、緬羊
農林省畜産局編
昭和八年



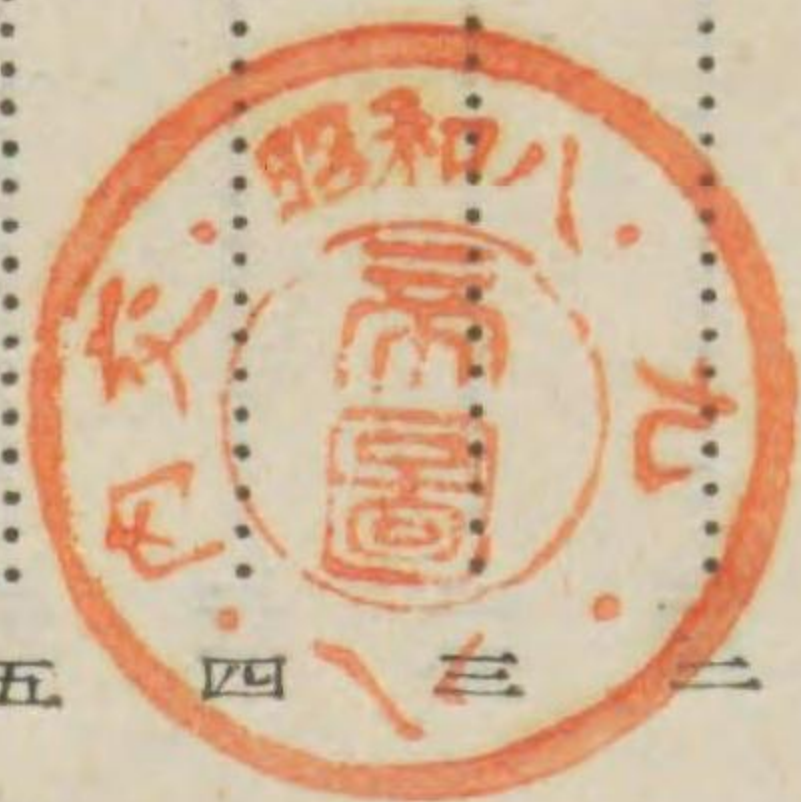
昭和八年七月

本邦ノ緬羊

農林省畜産局

目次

一、緒言	一
二、緬羊飼育獎勵ノ經過	二
(一) 緬羊獎勵機關	二
(二) 輸入緬羊收容所	三
(三) 種緬羊ノ輸入	三
(四) 緬羊飼育委託	四
(五) 種牝緬羊ノ配付	五
(六) 種牡緬羊ノ無償貸付	六
(七) 種牝緬羊ノ無償貸付	七
(八) 緬羊技術員ノ養成	九
(九) 共進會並博覽會出陳緬羊ノ成績	九
(十) 參考品ノ出陳等ニ依ル緬羊ニ關スル智識ノ普及	一〇



(十一) 道廳府縣ノ緬羊ニ關スル設備及技術員設置ニ對スル補助	二一
(十二) 緬羊飼育ニ關スル獎勵金	二三
(十三) 優良種緬羊ノ買上	一七
(十四) 海外研究生ノ派遣	二〇
(十五) 研究ノ委託	二〇
三、現況	二一
(一) 緬羊飼育者別累年頭數	二一
(二) 飼育地方數並飼育者數	二二
(三) 地方別飼育者數及飼育頭數	二三
(四) 主ナル飼育者別飼育頭數	二六
(五) 本邦内地ニ於テ飼育セララルル緬羊ノ種類	三三
(六) 緬羊飼育ノ規模	三三
(七) 蕃殖成績	三四
(八) 生産物ノ處置	三七
(イ) 種緬羊	三八

(ロ) 肉緬羊	三六
(ハ) 羊毛	四一
(ニ) 羊皮	四二
(ホ) 羊肥	四二
(九) 衛生状態	四二
(十) 緬羊飼育ノ經濟	四三
四、緬羊飼育ノ將來	四四

附表

第一表 世界ノ緬羊頭數ト羊毛産額	四五
第二表 濠洲市場羊毛每一封度最高價格	五〇
第三表 大正七年以降ノ本邦内地ニ於ケル羊毛消費量及人口一人當消費量	五一
第四表 羊毛、トップ、毛織物輸入額	五二
第五表 内地主産量ノ輸入羊毛及消費總量ニ對スル割合(汚毛)	五三
第六表 羊肉生産量及輸入量並其ノ價額	五四

緒

言

羊毛ハ國民生活上並國防上必要缺ク可カラザル原料品ナルニ拘ハラズ從來本邦ニ於テハ其ノ需要ノ大部ヲ輸入ニ俟ツノ狀況ニシテ一朝輸入ノ杜絶スル事アラバ憂慮スベキ結果トナルベキヲ慮リ政府ハ大正六年農商務省内ニ臨時産業調査局ヲ設置シ、本邦内地ヲ初メ各植民地、南滿洲及東部内蒙古並支那其ノ他諸外國ニ於ケル羊毛ノ需給、緬羊飼育ノ狀況並緬羊及羊毛ニ關スル平時及非常時ノ政策等ニ就キ精細ナル調査ヲ遂ゲ、本邦需要ノ羊毛ニ對シ供給ノ途ヲ安固ナラシムル爲之ガ自給ヲ圖ルノ急務ナルヲ認メテ、緬羊飼育ノ獎勵ヲ開始セリ。而シテ獎勵ノ當初ニ於テハ動モスレバ緬羊ハ本邦ノ氣候風土等ノ關係上成功困難ナリトノ意見ヲナスモノアリタルモ、其ノ實際ハ何等ノ杞憂ナク良ク本邦農業經營ト融合シテ發達シツツアリ、飼育頭數、飼育戸數共ニ逐年増加シテ獎勵當初ニ於テ頭數僅ニ三千餘頭、戸數僅ニ二百餘戸ナリシモノガ今日ニ於テハ頭數三萬餘頭、戸數七千餘戸ヲ算スルノ狀態ニシテ、頭數ニ於テハ實ニ十倍、戸數ニ於テハ正ニ三十五倍ノ増加ヲ示シ、羊毛ノ生産量モ亦年ト共ニ増加シテ年産額約二十萬封度ニ達シ、緬羊飼育ノ分布地方ハ殆ンド全國ニ及ブニ至レリ。

蓋シ十餘年間ニ於テ斯ノ如キ増加ヲ見タルハ緬羊飼育ガ農村ニ於ケル重要ナル産業トシテ好適セル所以ニシテ殊ニ最近ノ農村不況ニ際シテハ緬羊飼育ニヨリテ良ク農業經營ノ改善ニ資シ、農家經濟ヲ緩

和スルコト著シキモノアリテ一層其ノ効果ヲ擧ゲツツアリ

二、緬羊飼育獎勵ノ經過

大正七年緬羊飼育獎勵ヲ開始スルヤ内地緬羊ノ増殖ハ同年以降着々實現シテ豫期ノ成績ヲ擧ゲツツアリ今其ノ經過ノ概要ヲ述ブレバ左ノ如シ

(一) 緬羊獎勵機關

大正七年四月十八日勅令第八十號ヲ以テ緬羊ニ關スル事務ニ從事スベキ職員ヲ置クコトヲ公布セラレ同年同月農務局内ニ緬羊課ヲ設置シ次デ北海道瀧川外四ヶ所ニ種羊場ヲ設置セシモ大正十一年度及大正十三年度ノ行政整理ノ結果大正十二年四月一日畜産局ノ設置ト共ニ緬羊課ハ畜産課ニ併合セラレ現在ニ於テハ種羊場ハ左ノ一場トナレリ

北條種羊場ハ大正十二年一月末日、友部、熊本兩種羊場及月寒分場ハ大正十三年十二月十五日、瀧川種羊場ハ昭和六年六月三十日、瀧川分場ハ昭和七年二月二十九日共ニ廢止

名 稱 位 置 設置年月日

種 羊 場 北海道札幌郡豐平町 大正八年四月十日

備 考

大正十二年四月一日ヨリ大正十三年十二月十一日迄瀧川種羊場分場タリシモ昭和六年七月一日ヨリ月寒種羊場ノ名稱ヲ種羊場ニ改ム

(二) 輸入緬羊收容所

緬羊輸入ノ途次臨時收容ノ爲大正八年神戸市ニ、大正九年横濱市ニ輸入緬羊ヲ收容スベキ施設ヲ爲シタルガ十一年度ノ行政整理ノ結果左ノ一ヶ所トナレリ

名 稱 位 置 設置年月日

農林省横濱緬羊收容事務所 神奈川縣横濱市瀧頭町 大正九年三月二十五日

(三) 種緬羊ノ輸入

年 度	英 國	北 米	濠 洲	支 那	其 他	總 頭 數
大正七年	八	九三	二九八	八〇	五二	五二三
同 八 年	五七	一六一	三〇六	一五九	一	六三四
同 九 年	四九	五三三	三四七	二五八	一	一、一九五
同 十 年	三三	五八四	五五三	二一三	一	一、三九九
同 十 一 年	一〇	九一八	二五八	一七〇	一〇	一、三九〇
同 十 二 年	一〇	七六〇	四六〇	同	二六	七九六
同 十 三 年	一〇	一一六	二〇八	同	五一	六二七
同 十 四 年	二	一五六	二〇八	同	五四	四二〇
昭 和 元 年	一	一五六	二六〇	同	同	四一六
同 二 年	一	一五六	二六〇	同	同	四〇六
同 三 年	一	一二四	三四〇	同	同	四六四
同 四 年	一	一二〇	三五二	同	同	四七二
同 五 年	一	一一八	三四三	同	同	四六一

同 六年	一六〇	三、九九五	二二九	八八〇	新西蘭二八五	五二四
同 七年	一六〇	三、九九五	二二九	八八〇	四七八	九、八一七
合 計						

四

(四) 緬羊飼育委託
 羊舎設備費技術員俸給其ノ他緬羊ノ飼養管理ニ要スル經費ヲ補助シ委託緬羊ヨリ生ズル果實ノ全部ヲ授與シテ其ノ生産仔牝緬羊ヲ政府ノ指定シタル價格ヲ以テ其ノ指定スル者ニ賣却セシムル條件ヲ以テ確實ナル民間牧場、畜産組合、道廳府縣種畜場等適當ト認ムル處ニ緬羊ヲ委託スルコトトシ大正十年ヨリ昭和六年迄左ノ如ク之ヲ實施セリ

委託先	位 置	委託頭數	委託期間	備 考
極 東 農 場	北海道札幌郡手稻村輕川	一〇四頭	自大正十年至昭和三年	大正十五年十月委託解除
北村緬羊畜産組合	北海道空知郡北村	五二	同	大正十五年十月委託解除
根 室 牧 場	北海道根室郡根室町	一〇四	同	昭和三年七月委託解除
有珠郡緬羊畜産組合	北海道有珠郡伊達村	五二	同	昭和三年七月委託解除
極 東 農 場	北海道札幌郡手稻村輕川	一〇四	自大正十年至昭和三年	昭和三年七月委託解除
北村緬羊畜産組合	北海道空知郡北村	五二	自大正十年至昭和三年	昭和三年七月委託解除
川西馬毛島牧場	鹿兒島縣薩毛郡北種子村	一〇四	自昭和六年至昭和六年	昭和三年七月委託解除

委託先	位 置	委託頭數	委託期間	備 考
福島縣種畜場	福島縣安達郡高川村	一〇四	自大正十一年至昭和四年	昭和四年五月委託解除
廣 澤 牧 場	青森縣上北郡三澤村	一〇四	同	昭和四年五月委託解除
岩手縣種畜場	岩手縣岩手郡瀧澤村	一〇四	自大正十一年至昭和五年	昭和五年五月委託解除
白 雲 牧 場	長崎縣南高來郡小濱町	一〇四	自昭和六年至昭和六年	昭和六年三月委託解除
登米郡緬羊畜産組合	宮城縣登米郡佐沼町	一〇四	自昭和六年至昭和六年	昭和六年三月委託解除

(五) 種牝緬羊ノ配付

年 度	頭 數	配付箇所數	配付戸數	備 考
大正七年	六一	八	三二	内八三頭ハ委託牧場生産
同 八年	一六八	九	七六	内一〇〇頭ハ委託牧場生産
同 九年	三二五	一九	一五三	内一四〇頭ハ委託牧場生産
同 十年	六〇〇	二二	二〇六	内一四〇頭ハ委託牧場生産
同 十一年	七九六	三八	二六二	内一四〇頭ハ委託牧場生産
同 十二年	一一二一	二八	二〇五	内一四〇頭ハ委託牧場生産
同 十三年	二、二二八	三七	三〇四	内一四〇頭ハ委託牧場生産
同 十四年	八七五	一六	一九三	内二三八頭ハ委託牧場生産
昭和元年	九七四	二五	三一九	内二八九頭ハ委託牧場生産
同 二年	六五八	二四	四〇七	内二四八頭ハ委託牧場生産

五

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三年	四年	五年	六年	七年	七年計	三年	四年	五年	六年
六〇一	九三九	九一二	六九〇	五五二	一一、五〇〇	二四	三〇	四三	三三
四四〇	五五三	六九六	五六四	四六一	四、八七一	內一五〇頭ハ委託牧場生産	內八三頭ハ委託牧場生産	內三五頭ハ委託牧場生産	

六

備考 配付箇所數ハ新ニ配付セル所ノミヲ示シ從來ノ飼育地ニ補充拂下ヲナシタル所ハ右箇所數ニ含マザルモノストス

右表ニ示スガ如ク大正七年以降昭和七年度ニ至ルマデ配付シタル總頭數ハ一一、五〇〇ニシテ其ノ分布一道三府四十一縣ニ及ベリ

(六) 種牡緬羊ノ無償貸付

年	度	頭	數	貸付箇所數	備	考
大正	七年	一	一八	一七		
同	八年	二	二八	一八		
同	九年	五	五四	二二		
同	十年	六	六五	四〇		

年	度	頭	數	貸付箇所數	備	考
同	十一年	一	一四	四五		
同	十二年	一	〇二	五二		
同	十三年	二	一一	三一		
同	十四年	一	八七	三七		
昭和	元年	一	九九	三二		
同	二年	二	一七	四九		
同	三年	一	九四	四二		
同	四年	二	二二	五〇		
同	五年	三	二五	七一		
同	六年	三	一六	一一三		
同	七年	二	〇二	一五八		
合	計	二	四五四	七七七		

内二〇頭ハ當歳牡緬羊、三〇頭ハ種羊場繫養ノ原種緬羊ナリシテ整理ノ爲貸付シタルモノトス

備考 貸付箇所數ハ新ニ貸付シタルモノノミヲ示ス

(七) 種牡緬羊ノ無償貸付

大正十三年度ニ於ケル財政整理ニ因リ種羊場繫養ノ原種緬羊定數ヲ減少スルコトナリタルヲ以テ其ノ淘汰スベキ原種緬羊ノ一部ハ之ヲ從來ノ飼育地ニシテ成績良好ナル箇所ニ拂下グルト共ニ一部ハ緬羊飼育ニ經驗ヲ有シ日成績良好ナル適當ノ民間牧場又ハ團體ニ無償配付シ蕃殖ニ供セシメタルコトア

レドモ現在ハ左記ノ諸地方種畜場並種羊場ニ無償貸付セリ

貸付先	位	置	貸付頭數	貸付期間	備考
福島縣種畜場	福島縣安達郡高川村		五二頭	自昭和四一 至昭和一一二	昭和七年十一月三十日無償附與
熊本縣種畜場	熊本縣菊池郡合志村		一二三頭	自昭和七 至昭和一一二	
岩手縣種畜場	岩手縣岩手郡瀧澤村		一五六頭	自昭和七 至昭和一一二	
宮崎縣種畜場	宮崎縣西諸縣郡高原村		八〇頭	自昭和七 至昭和一一二	
千葉縣種畜場	千葉縣安房郡丸村		五二頭	自昭和七 至昭和一一二	
山形縣種畜場	山形縣東置賜郡高島町		五二頭	自昭和七 至昭和一一二	
愛知縣種畜場	愛知縣岡崎市美合町		五二頭	自昭和七 至昭和一一二	
群馬縣種畜場	群馬縣前橋市岩神町		三〇頭	自昭和七 至昭和一一二	
廣島縣種畜場	廣島縣比婆郡山内東村		一〇四頭	自昭和七 至昭和一一二	
北海道廳種羊場	北海道空知郡瀧川町		一、〇四〇頭	自昭和七 至昭和一一二	
青森縣種畜場	青森縣上北郡七戸町		五二頭	自昭和七 至昭和一一二	

(八) 緬羊技術員ノ養成

大正七年以降緬羊技術練習生規程ニ依リ技術員ヲ養成シ第一回ハ瀧川種羊場月寒出張所ニ於テ、第二回以降第六回マデハ友部種羊場ニ於テ、第七回以降ハ月寒種羊場ニ於テ所定ノ練習ヲ修了セリ其ノ人員左ノ如シ

年度	修了人員	計
大正七年度	一九	二二〇名
大正八年度	一五	
大正九年度	一一	
大正十年度	一四	
大正十一年度	五	
大正十二年度	七	
大正十三年度	六	
大正十四年度	三	
昭和元年度	四	
昭和二年度	一〇	
昭和三年度	一	
昭和四年度	六	
昭和五年度	二	

(九) 共進會並博覽會出陳緬羊ノ成績

年度	會名	開催地	出品人員	出品頭數	授賞頭數
大正十年	中央畜産會主催 畜産博覽會	東京市	三〇人	三〇頭	一五頭
同 十一年	東京府主催 平和記念東京博覽會	同 東京市	三一	三一	一九
同 十二年	熊本縣主催 第五回九州聯合畜産共進會	熊本市	二五	三〇	一三
同 十三年	秋田縣主催 第五回奥羽六縣聯合畜産共進會	秋田市	三〇	三〇	一五
同 十四年	秋田縣主催 第五回奥羽六縣聯合畜産共進會	登米郡	三	三	一
同 十五年	登米郡緬羊畜産組合主催 第一回宮城縣緬羊共進會	佐沼郡	三八	四〇	九
昭和元年	同 第二回宮城縣緬羊共進會	同 佐沼郡	五〇	五〇	二五

宮城縣			四三	六四	八六	八五	九三	八三	八三	九三	九三	一、六四九	一、三三	一、〇〇	一、八一三
福島縣			六三	七四	八九	七九	七六	七〇	七〇	八五	八〇	一、七三	一、八〇	一、八〇〇	一、八〇〇
岩手縣			六〇	六〇	六六	六〇	六〇	六〇	六〇	五七	一、〇八八	一、一八六	一、一八六	一、四〇五	一、六五六
富山縣			一、四七	一、一三	七六	七三	七三	八三	一〇						
岡山縣			五三	六五	九〇	九〇	七〇								
和歌山縣			六〇	一、四六	一、〇三〇	一、〇三〇									
大分縣			九七	八五	八五	六四									
宮崎縣	一、四	七〇	八六	八二	八六	八六	九六	九六	九六	九六	六三	六三	九〇	八四〇	
鹿兒島縣			五〇	六三	六二	七三	七六	七六	七六	七六					
沖繩縣	三九	六八	一、一四	八〇	八四	七〇	七〇	八〇							
岐阜縣					四八	七〇									
山形縣				一七	五六										
栃木縣										六〇	七五	八二	八二	八二	八一
茨城縣										九三	八〇	九四	八二	七三	七三
熊本縣										八三	九三	八〇	九四	八二	八四
群馬縣										九三	九三	九三	九四	八四	八四
群馬縣										五八	一、〇八	一、〇八	一、〇八	七二	七二
廣島縣										三〇	五四	五四	五四	六〇	六〇
計	五五七	二、三三〇	六、一六二	二、一六四	一、四一〇	一、七四九	一、七〇九	一、〇九一	一、〇九一	一、〇九一	一、〇九一	二、一七四	二、一七四	二、一七四	二、一七四

(十二) 緬羊飼育ニ關スル獎勵金

大正八年一月四日農商務省令第一號ヲ以テ緬羊飼育獎勵規則公布セラレ昭和五年度迄毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ左ノ事項ニ對シ獎勵金ヲ交付セリ

(イ) 緬羊購入獎勵金 (第一表)

(ロ) 種緬羊輸入獎勵金 (第二表)

(ハ) 産毛獎勵金 (第三表)

(ニ) 羊肉商補助金 (第四表)

然ルニ近年緬羊頭數、飼育者並緬羊ニ關スル團體ノ増加ニ從ヒ之ガ團體的活動ヲ促進セシムルガ爲ニ昭和六年四月一日農林省令第九號ヲ以テ緬羊飼育獎勵規則ヲ改正シ左ノ事項ニ對シ獎勵金ヲ交付スルコトトシ昭和六年度ノ交付狀況左ノ如シ

一、緬羊ニ關スル專任技術員ノ設置

二、緬羊ノ飼育又ハ羊毛若ハ羊皮ノ加工ニ必要ナル建物、工作物又ハ器具機械ノ設備

三、緬羊ニ關スル講習會、講話會、競技會、共進會其ノ他緬羊ニ關スル知識ノ普及向上ノ爲適當ナル施設

四、羊毛ノ共同出荷ノ場合ニ於ケル集荷、選別又ハ包裝ノ施設

五、種緬羊ノ購入又ハ共同購入斡旋ノ場合ニ於ケル種緬羊ノ輸送費
昭和六年度種羊飼育獎勵金交付狀況

種羊技術員設置獎勵金	一四、九四五圓
羊舍及羊毛羊皮加工舍器具機械設備獎勵金	一、八八五〃
講習、講話宣傳獎勵金	四、五五四〃
羊毛共同出荷獎勵金	九六三〃
種緬羊購入輸送獎勵金	一、五二〇〃
羊肉商獎勵金	一、四七四〃
計	二五、三四一〃

第一表

年 度	頭 數	金 額	備 考
大正八年度	一六五頭	四九五圓	一頭ニ付三圓
大正九年度	三四	九四三	同 上
大正十年度	不明	不明	書類焼失
大正十一年度	九五七	七、一八三	一頭ニ付八圓

第二表

年 度	頭 數	金 額	備 考
大正十二年度	一、二二三	八、九七六	同 上
大正十三年度	一、三六四	一〇、九二二	同 上
大正十四年度	一、〇一一	七、四〇一	一頭ニ付五圓(二二九頭)八圓(七八二頭)
昭和元年度	二、二二七	一、二二八	一頭ニ付五圓(一九二六頭)八圓(二〇一頭)
昭和二年度	一、八七三	九、三六五	一頭ニ付五圓
昭和三年度	一、一五三	五、七六五	同 上
昭和四年度	二、〇一〇	一〇、一〇〇	同 上
昭和五年度	三、二四三	一一、二七三	一頭ニ付五圓(七三三頭)三圓(二、四六九頭)
昭和六年度 ヨリ廢止			

年 度	金	額	備 考
昭和元年 年度	三九	二、五三五	米國ヨリ三九頭
昭和二年 年度	五〇	三、二五〇	米國ヨリ五〇頭
昭和三年 年度	三五	二、二七五	米國ヨリ三五頭
昭和四年 年度	四〇	二、六〇〇	米國ヨリ四〇頭
昭和五年 年度	三五	二、二七五	米國ヨリ三五頭
昭和六年 年度	三〇	一、九〇〇	米國ヨリ三〇頭
昭和七年 年度	二五	一、五二五	米國ヨリ二五頭
昭和八年 年度	二〇	一、一五〇	米國ヨリ二〇頭
昭和九年 年度	一五	〇、七八五	米國ヨリ一五頭
昭和十年 年度	一〇	〇、四一〇	米國ヨリ一〇頭
昭和十一年 年度	〇五	〇、〇三五	米國ヨリ〇五頭
昭和十二年 年度	〇〇	〇、〇〇〇	米國ヨリ〇〇頭
昭和十三年 年度	〇五	〇、〇三五	米國ヨリ〇五頭
昭和十四年 年度	一〇	〇、四一〇	米國ヨリ一〇頭
昭和十五年 年度	一五	〇、七八五	米國ヨリ一五頭
昭和十六年 年度	二〇	一、一五〇	米國ヨリ二〇頭
昭和十七年 年度	二五	一、五二五	米國ヨリ二五頭
昭和十八年 年度	三〇	一、九〇〇	米國ヨリ三〇頭
昭和十九年 年度	三五	二、二七五	米國ヨリ三五頭
昭和二十年 年度	四〇	二、六〇〇	米國ヨリ四〇頭
昭和二十一年 年度	四五	二、九七五	米國ヨリ四五頭
昭和二十二年 年度	五〇	三、三五〇	米國ヨリ五〇頭
昭和二十三年 年度	五五	三、七二五	米國ヨリ五五頭
昭和二十四年 年度	六〇	三、九〇〇	米國ヨリ六〇頭
昭和二十五年 年度	六五	四、〇七五	米國ヨリ六五頭
昭和二十六年 年度	七〇	四、二五〇	米國ヨリ七〇頭
昭和二十七年 年度	七五	四、四二五	米國ヨリ七五頭
昭和二十八年 年度	八〇	四、六〇〇	米國ヨリ八〇頭
昭和二十九年 年度	八五	四、七七五	米國ヨリ八五頭
昭和三十年 年度	九〇	四、九五〇	米國ヨリ九〇頭
昭和三十一年 年度	九五	五、一二五	米國ヨリ九五頭
昭和三十二年 年度	一〇〇	五、三〇〇	米國ヨリ一〇〇頭
昭和三十三年 年度	一〇五	五、四七五	米國ヨリ一〇五頭
昭和三十四年 年度	一一〇	五、六五〇	米國ヨリ一一〇頭
昭和三十五年 年度	一一五	五、八二五	米國ヨリ一一五頭
昭和三十六年 年度	一二〇	六、〇〇〇	米國ヨリ一二〇頭
昭和三十七年 年度	一二五	六、一七五	米國ヨリ一二五頭
昭和三十八年 年度	一三〇	六、三五〇	米國ヨリ一三〇頭
昭和三十九年 年度	一三五	六、五二五	米國ヨリ一三五頭
昭和四十年 年度	一四〇	六、九〇〇	米國ヨリ一四〇頭
昭和四十一年 年度	一四五	七、二七五	米國ヨリ一四五頭
昭和四十二年 年度	一五〇	七、六五〇	米國ヨリ一五〇頭
昭和四十三年 年度	一五五	八、〇二五	米國ヨリ一五五頭
昭和四十四年 年度	一六〇	八、四〇〇	米國ヨリ一六〇頭
昭和四十五年 年度	一六五	八、七七五	米國ヨリ一六五頭
昭和四十六年 年度	一七〇	九、一五〇	米國ヨリ一七〇頭
昭和四十七年 年度	一七五	九、五二五	米國ヨリ一七五頭
昭和四十八年 年度	一八〇	九、九〇〇	米國ヨリ一八〇頭
昭和四十九年 年度	一八五	一〇、二七五	米國ヨリ一八五頭
昭和五十年 年度	一九〇	一〇、六五〇	米國ヨリ一九〇頭
昭和五十一年 年度	一九五	一〇、〇二五	米國ヨリ一九五頭
昭和五十二年 年度	二〇〇	一〇、四〇〇	米國ヨリ二〇〇頭
昭和五十三年 年度	二〇五	一〇、七七五	米國ヨリ二〇五頭
昭和五十四年 年度	二一〇	一一、一五〇	米國ヨリ二一〇頭
昭和五十五年 年度	二一五	一一、五二五	米國ヨリ二一五頭
昭和五十六年 年度	二二〇	一一、九〇〇	米國ヨリ二二〇頭
昭和五十七年 年度	二二五	一二、二七五	米國ヨリ二二五頭
昭和五十八年 年度	二三〇	一二、六五〇	米國ヨリ二三〇頭
昭和五十九年 年度	二三五	一二、〇二五	米國ヨリ二三五頭
昭和六十年 年度	二四〇	一二、四〇〇	米國ヨリ二四〇頭
昭和六十一年 年度	二四五	一二、七七五	米國ヨリ二四五頭
昭和六十二年 年度	二五〇	一三、一五〇	米國ヨリ二五〇頭
昭和六十三年 年度	二五五	一三、五二五	米國ヨリ二五五頭
昭和六十四年 年度	二六〇	一三、九〇〇	米國ヨリ二六〇頭
昭和六十五年 年度	二六五	一四、二七五	米國ヨリ二六五頭
昭和六十六年 年度	二七〇	一四、六五〇	米國ヨリ二七〇頭
昭和六十七年 年度	二七五	一五、〇二五	米國ヨリ二七五頭
昭和六十八年 年度	二八〇	一五、四〇〇	米國ヨリ二八〇頭
昭和六十九年 年度	二八五	一五、七七五	米國ヨリ二八五頭
昭和七十年 年度	二九〇	一六、一五〇	米國ヨリ二九〇頭
昭和七十一年 年度	二九五	一六、五二五	米國ヨリ二九五頭
昭和七十二年 年度	三〇〇	一六、九〇〇	米國ヨリ三〇〇頭
昭和七十三年 年度	三〇五	一七、二七五	米國ヨリ三〇五頭
昭和七十四年 年度	三一〇	一七、六五〇	米國ヨリ三一〇頭
昭和七十五年 年度	三一五	一八、〇二五	米國ヨリ三一五頭
昭和七十六年 年度	三二〇	一八、四〇〇	米國ヨリ三二〇頭
昭和七十七年 年度	三二五	一八、七七五	米國ヨリ三二五頭
昭和七十八年 年度	三三〇	一九、一五〇	米國ヨリ三三〇頭
昭和七十九年 年度	三三五	一九、五二五	米國ヨリ三三五頭
昭和八十年 年度	三四〇	一九、九〇〇	米國ヨリ三四〇頭
昭和八十一年 年度	三四五	二〇、二七五	米國ヨリ三四五頭
昭和八十二年 年度	三五〇	二〇、六五〇	米國ヨリ三五〇頭
昭和八十三年 年度	三五五	二一、〇二五	米國ヨリ三五五頭
昭和八十四年 年度	三六〇	二一、四〇〇	米國ヨリ三六〇頭
昭和八十五年 年度	三六五	二一、七七五	米國ヨリ三六五頭
昭和八十六年 年度	三七〇	二二、一五〇	米國ヨリ三七〇頭
昭和八十七年 年度	三七五	二二、五二五	米國ヨリ三七五頭
昭和八十八年 年度	三八〇	二二、九〇〇	米國ヨリ三八〇頭
昭和八十九年 年度	三八五	二三、二七五	米國ヨリ三八五頭
昭和九十年 年度	三九〇	二三、六五〇	米國ヨリ三九〇頭
昭和九十一年 年度	三九五	二四、〇二五	米國ヨリ三九五頭
昭和九十二年 年度	四〇〇	二四、四〇〇	米國ヨリ四〇〇頭
昭和九十三年 年度	四〇五	二四、七七五	米國ヨリ四〇五頭
昭和九十四年 年度	四一〇	二五、一五〇	米國ヨリ四一〇頭
昭和九十五年 年度	四一五	二五、五二五	米國ヨリ四一五頭
昭和九十六年 年度	四二〇	二五、九〇〇	米國ヨリ四二〇頭
昭和九十七年 年度	四二五	二六、二七五	米國ヨリ四二五頭
昭和九十八年 年度	四三〇	二六、六五〇	米國ヨリ四三〇頭
昭和九十九年 年度	四三五	二七、〇二五	米國ヨリ四三五頭
昭和第一百年 年度	四四〇	二七、四〇〇	米國ヨリ四四〇頭

第三表

年 度	金	額	備 考
大正十年 年度		六、〇五五 ^円 ・八三	不明
大正十一年 年度		一、六七六・七八	書類焼失
大正十二年 年度		六、九四七・五八	
大正十三年 年度		一、七八一・〇二	
大正十四年 年度		一、四七一・九四	
昭和元年 年度		一、五四五・一九	
昭和二年 年度		一、六四三・六九	
昭和三年 年度		一九、三一二・二〇	
昭和四年 年度		一七、三七五・四六	
昭和五年 年度			
昭和六年 年度			
昭和七年 年度			
昭和八年 年度			
昭和九年 年度			
昭和十年 年度			
昭和十一年 年度			
昭和十二年 年度			
昭和十三年 年度			
昭和十四年 年度			
昭和十五年 年度			
昭和十六年 年度			
昭和十七年 年度			
昭和十八年 年度			
昭和十九年 年度			
昭和二十年 年度			
昭和二十一年 年度			
昭和二十二年 年度			
昭和二十三年 年度			
昭和二十四年 年度			
昭和二十五年 年度			
昭和二十六年 年度			
昭和二十七年 年度			
昭和二十八年 年度			
昭和二十九年 年度			
昭和三十年 年度			
昭和三十一年 年度			
昭和三十二年 年度			
昭和三十三年 年度			
昭和三十四年 年度			
昭和三十五年 年度			
昭和三十六年 年度			
昭和三十七年 年度			
昭和三十八年 年度			
昭和三十九年 年度			
昭和四十年 年度			
昭和四十一年 年度			
昭和四十二年 年度			
昭和四十三年 年度			
昭和四十四年 年度			
昭和四十五年 年度			
昭和四十六年 年度			
昭和四十七年 年度			
昭和四十八年 年度			
昭和四十九年 年度			
昭和五十年 年度			
昭和五十一年 年度			
昭和五十二年 年度			
昭和五十三年 年度			
昭和五十四年 年度			
昭和五十五年 年度			
昭和五十六年 年度			
昭和五十七年 年度			
昭和五十八年 年度			
昭和五十九年 年度			
昭和六十年 年度			
昭和六十一年 年度			
昭和六十二年 年度			
昭和六十三年 年度			
昭和六十四年 年度			
昭和六十五年 年度			
昭和六十六年 年度			
昭和六十七年 年度			
昭和六十八年 年度			
昭和六十九年 年度			
昭和七十年 年度			
昭和七十一年 年度			
昭和七十二年 年度			
昭和七十三年 年度			
昭和七十四年 年度			
昭和七十五年 年度			
昭和七十六年 年度			
昭和七十七年 年度			
昭和七十八年 年度			
昭和七十九年 年度			
昭和八十年 年度			
昭和八十一年 年度			
昭和八十二年 年度			
昭和八十三年 年度			
昭和八十四年 年度			
昭和八十五年 年度			
昭和八十六年 年度			
昭和八十七年 年度			
昭和八十八年 年度			
昭和八十九年 年度			
昭和九十年 年度			
昭和九十一年 年度			
昭和九十二年 年度			
昭和九十三年 年度			
昭和九十四年 年度			
昭和九十五年 年度			
昭和九十六年 年度			
昭和九十七年 年度			
昭和九十八年 年度			
昭和九十九年 年度			
昭和第一百年 年度			

第四表

年 度	金	額
大正十一年 年度		三、二五一・四〇 ^円
大正十三年 年度		五二二・〇〇
大正十四年 年度		七三五・〇〇
昭和元年 年度		八四六・〇〇
昭和二年 年度		一、三一七・〇〇
昭和三年 年度		九九〇・〇〇
昭和四年 年度		一、六三八・〇〇
昭和五年 年度		二、五五〇・〇〇
昭和六年 年度		一、四七四・〇〇
昭和七年 年度		
昭和八年 年度		
昭和九年 年度		
昭和十年 年度		
昭和十一年 年度		
昭和十二年 年度		
昭和十三年 年度		
昭和十四年 年度		
昭和十五年 年度		
昭和十六年 年度		
昭和十七年 年度		
昭和十八年 年度		
昭和十九年 年度		
昭和二十年 年度		
昭和二十一年 年度		
昭和二十二年 年度		
昭和二十三年 年度		
昭和二十四年 年度		
昭和二十五年 年度		
昭和二十六年 年度		
昭和二十七年 年度		
昭和二十八年 年度		
昭和二十九年 年度		
昭和三十年 年度		
昭和三十一年 年度		
昭和三十二年 年度		
昭和三十三年 年度		
昭和三十四年 年度		
昭和三十五年 年度		
昭和三十六年 年度		
昭和三十七年 年度		
昭和三十八年 年度		
昭和三十九年 年度		
昭和四十年 年度		
昭和四十一年 年度		
昭和四十二年 年度		
昭和四十三年 年度		
昭和四十四年 年度		
昭和四十五年 年度		
昭和四十六年 年度		
昭和四十七年 年度		
昭和四十八年 年度		
昭和四十九年 年度		
昭和五十年 年度		
昭和五十一年 年度		
昭和五十二年 年度		
昭和五十三年 年度		
昭和五十四年 年度		
昭和五十五年 年度		
昭和五十六年 年度		
昭和五十七年 年度		
昭和五十八年 年度		
昭和五十九年 年度		
昭和六十年 年度		
昭和六十一年 年度		
昭和六十二年 年度		
昭和六十三年 年度		
昭和六十四年 年度		
昭和六十五年 年度		
昭和六十六年 年度		
昭和六十七年 年度		
昭和六十八年 年度		
昭和六十九年 年度		
昭和七十年 年度		
昭和七十一年 年度		
昭和七十二年 年度		
昭和七十三年 年度		
昭和七十四年 年度		
昭和七十五年 年度		
昭和七十六年 年度		
昭和七十七年 年度		
昭和七十八年 年度		
昭和七十九年 年度		
昭和八十年 年度		
昭和八十一年 年度		
昭和八十二年 年度		
昭和八十三年 年度		
昭和八十四年 年度		
昭和八十五年 年度		
昭和八十六年 年度		
昭和八十七年 年度		
昭和八十八年 年度		
昭和八十九年 年度		
昭和九十年 年度		
昭和九十一年 年度		
昭和九十二年 年度		
昭和九十三年 年度		
昭和九十四年 年度		
昭和九十五年 年度		
昭和九十六年 年度		
昭和九十七年 年度		
昭和九十八年 年度		
昭和九十九年 年度		
昭和第一百年 年度		

(十三) 優良種緬羊ノ買上

民間飼育者ノ生産ニ係ル優良種緬羊ヲ買上

年 度	地方別	大正十年	
		七	九
		北海道	青森
		岩手	宮城
		山形	福島
		茨城	栃木
		群馬	馬場
		徳島	長崎
		熊本	宮崎
		計	

其ノ二

年 度	種 類	性	頭 數	總 價 額	一 頭 最 高 價 額	一 頭 最 低 價 額	平 均 價 額	買 上 月 日	農 林 省 又 ハ 種 羊 場 別
昭和六年	ラムブライエ、メリノ種	同	七	二六〇	四〇	三〇	三七	宮崎ノ諸縣ニテ	種羊場省
	シユロツプシヤール種	同	二	七〇	三五	三五	三五	宮崎ノ諸縣ニテ	種羊場省
昭和五年	ラムブライエ、メリノ種	同	六	一五八	四〇	三五	三九	熊本市ノ諸縣ニテ	瀧川種羊場
	シユロツプシヤール種	同	六	二二五	四五	三五	三九	熊本市ノ諸縣ニテ	瀧川種羊場
昭和四年	ラムブライエ、メリノ種	同	七	二七五	四〇	三五	三九	熊本ノ諸縣ニテ	瀧川種羊場
	シユロツプシヤール種	同	四	一七〇	四五	四〇	四二	熊本ノ諸縣ニテ	瀧川種羊場
昭和三年	ラムブライエ、メリノ種	同	九	三七五	四五	四〇	四一	熊本縣種羊共進會	農林省
	シユロツプシヤール種	同	一	五〇	五〇	五〇	五〇	熊本縣種羊共進會	農林省
昭和二年	ラムブライエ、メリノ種	同	一	三〇〇	五五	四〇	四五	熊本縣種羊共進會	農林省
	シユロツプシヤール種	同	一	五九〇	五五	四〇	四五	熊本縣種羊共進會	農林省

年 度	種 類	性	頭 數	總 價 額	一 頭 最 高 價 額	一 頭 最 低 價 額	平 均 價 額	買 上 月 日	農 林 省 又 ハ 種 羊 場 別
大正十年	ラムブライエ、メリノ種	同	二	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	六月一日	友部種羊場
	下總メリノ種	同	一	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	六月一日	友部種羊場
大正十一年	ラムブライエ、メリノ種	同	三	二七〇	一三〇	一〇〇	九〇	六月一日	友部種羊場
	シユロツプシヤール種	同	一	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	六月一日	友部種羊場
大正十二年	ラムブライエ、メリノ種	同	二	二五〇	一二五	一〇〇	一二五	五月十七日	農商務省
	シユロツプシヤール種	同	一	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五	五月十七日	農商務省
大正十三年	ラムブライエ、メリノ種	同	二	一三〇	七〇	六〇	六五	十月廿一日	農商務省
	シユロツプシヤール種	同	二	一六〇	七〇	六〇	六五	十月廿一日	農商務省
昭和元年	ラムブライエ、メリノ種	同	三	一〇〇	五〇	四〇	五三	十月廿一日	農商務省
	シユロツプシヤール種	同	二	一〇〇	五〇	四〇	五三	十月廿一日	農商務省
昭和二年	ラムブライエ、メリノ種	同	一	三〇	五〇	五〇	五〇	十月廿一日	農商務省
	シユロツプシヤール種	同	一	五〇	五〇	五〇	五〇	十月廿一日	農商務省

年次	飼育地方數	飼育戸數	指	數	備考
大正十三年	一〇、二三三	五、四七七	一五、七一〇	三四四	三四六同
大正十四年	一一、三九〇	五、九六九	一七、三五九	三八三	三八二同
昭和元年	一二、九八九	四、九一二	一七、九〇一	四三七	三九四同
昭和二年	一三、八三一	四、九五七	一八、七八八	四六五	四一三同
昭和三年	一五、〇三七	四、四五八	一九、四九五	五〇六	四二九同
昭和四年	一六、二七五	四、四五三	二〇、七二八	五四八	四五八同
昭和五年	一八、七八〇	四、九二二	二三、七〇二	六三二	五二一同
昭和六年	二〇、六三四	三、七一九	二四、四五三	六九四	五三八同

(二) 飼育地方數並飼育戸數

年次	飼育地方數	飼育戸數	指	數	備考
大正七年	一道三十一縣	二〇四 ^戸	一〇〇	一〇〇	年末現在
大正八年	一導二府三十四縣	三四八	一七一	一七一	同
大正九年	一道三府三十九縣	五六五	二七七	二七七	同
大正十年	一道三府三十九縣	七九三	三八九	三八九	同
大正十一年	一道三府三十九縣	一、四四五	七〇八	七〇八	同
大正十二年	一道三府四十一縣	一、八四三	九〇三	九〇三	同
大正十三年	一道三府四十縣	二、四一二	一、一八二	一、一八二	同

年次	飼育地方數	飼育戸數	指	數	備考
大正十四年	一道三府三十九縣	二、八四四	一、三九四	一、三九四	同
昭和元年	一道三府四十三縣	三、四〇三	一、六六八	一、六六八	同
昭和二年	一道三府三十八縣	三、六一二	一、七七三	一、七七三	同
昭和三年	一道三府三十九縣	四、〇三八	一、九三〇	一、九三〇	同
昭和四年	一道三府三十九縣	四、六九八	二、三〇二	二、三〇二	同
昭和五年	一道三府四十縣	五、八六二	二、八七四	二、八七四	同
昭和六年	一道三府四十一縣	七、〇四八	三、四五五	三、四五五	同

之ニ依テ見レバ頭數ノ増加ト相俟ツテ飼育戸數モ亦著シキ増加ヲ示シ大正七年末二〇四戸ナリシモノ
 ガ昭和六年末ニハ七、〇四八戸トナリ十三ヶ年間ニ約三五増倍加セリ今昭和六年末現在地方別飼育戸
 數及飼育頭數ヲ表示スレバ左表ノ如ク更ニ農林省宮内省地方種畜場ニ付キ其ノ種類性別頭數ヲ示セバ
 次ノ如シ

(三) 地方別飼育者數及飼育頭數(昭和六年末現在)

地方別	飼育戸數	飼育頭數	備考
北海道	一、〇四〇 ^戸	五、四九一 ^頭	
青森	二八	二七七	
岩手	一、〇一六	二、〇六八	

熊長佐福高愛香德山廣岡島鳥和奈兵大京滋三

歌

本崎賀岡知媛川島口島山根取山良庫阪都賀重

二六四 一四一 一〇九 一七二 一一三 | 六二六三五

七六八 二六五 一七五 六五 三七四 一五五 一八五 三九 三九五 六九 | 二七五 一三五

愛靜岐長山福石富新神東千埼群栃茨福山秋宮

奈

知岡阜野梨井川山瀉川京葉玉馬木城島形田城

三二一 〇一 二五 五三一 二二五 一八一 三七 一、二一三 八三九 二二五 一、一六六

一八四 三二 一八四 〇 | 一七九 八 二一七 四 五 六六九 一三二 三、一八〇 一、五七七 二、四五一

大分	宮崎	鹿島	沖繩	官合	總計
一〇	四七	一四	一	七、〇四八	七、〇四八
三七	二二四	六七七	五	二〇、七三四	二四、四五三
計	計	計	計	計	計
一〇	四七	一四	一	七、〇四八	七、〇四八
三七	二二四	六七七	五	二〇、七三四	二四、四五三

(四) 主ナル飼育者別飼育頭數
種羊場(昭和六年現在)

種類	牝	牡	閹	計
ラムブレイエ・メリノ種	四七九	一四三	〇	六二二
濠洲メリノ種	一七五	六〇	〇	二三五
コリデール種	七六二	三二一	〇	一、〇八三
シユロツプシャール種	三	一	〇	四
チエヅイオット種	一	一	〇	二
オストフリーション種	一	一	〇	二
ロムニーマーシユ種	一	一	〇	二
計	一、四七〇	五三三	一	二、〇〇三

種類	牝	牡	計
雑種	四〇	四	四四
計	一、四七〇	五三三	二、〇〇三

北海道廳種羊場(昭和七年二月五日現在)

北海道空知郡瀧川町

種類	牝	牡	閹	計
ラムブレイエ・メリノ種	一〇九	六	〇	一一五
濠洲メリノ種	五四	一	〇	五五
コリデール種	三三七	一三	〇	三五〇
計	五〇〇	二〇	〇	五二〇

備考 當場ハ昭和七年二月五日設立セラレタリ

青森縣種畜場(昭和六年未現在)

青森縣上北郡七戸町

種類	牝	牡	閹	計
コリデール種	五〇	二	〇	五二
計	五〇	二	〇	五二

岩手縣種畜場 (昭和六年末現在) 岩手縣岩手郡瀧澤村

種類	性	牝	牡	閹	計
コリデール種		九一頭	三三頭	一一頭	九四頭
計					九四頭

山形縣置場種畜場 (昭和六年末現在) 山形縣東置賜郡高島町

種類	性	牝	牡	閹	計
コリデール種		四九頭	二二頭	一一頭	五一頭
シユロツブシャー種		五七頭	四二頭	一一頭	六一頭
計					六一頭

福島縣種畜場 (昭和六年末現在) 福島縣安達郡高川村

種類	性	牝	牡	閹	計
コリデール種		四七頭	二二頭	一一頭	四九頭
計					四九頭

栃木縣種畜場 (昭和六年末現在) 栃木縣河内郡藥師寺村

種類	性	牝	牡	閹	計
ラムブレイエ・メリノ種		三六頭	一一頭	一一頭	三九頭
濠洲メリノ種		三七頭	一一頭	一一頭	三八頭
コリデール種		一五頭	三三頭	一一頭	三八頭
ロムニーマーシユ種		一五頭	一一頭	一一頭	三八頭
雜種		九一頭	一一頭	一一頭	一〇三頭
計					一〇三頭

群馬縣種畜場 (昭和六年末現在) 群馬縣前橋市岩神町

種類	性	牝	牡	閹	計
コリデール種		一五頭	一一頭	一一頭	一七頭
ラムブレイエ・メリノ種		一五頭	一一頭	一一頭	一七頭
計					三三頭

千葉縣嶺岡種畜場 (昭和六年末現在) 千葉縣安房郡丸村

種類	性	牝	牡	閹	計
ランブーイエ・メリノ種		一九頭			一九頭
コリデール種		二九頭			二九頭
計		四八頭			四八頭

愛知縣種畜場 (昭和六年末現在) 愛知縣岡崎市美合町

種類	性	牝	牡	閹	計
コリデール種		七八頭			七八頭
計		七八頭			七八頭

三重縣種畜場 (昭和六年末現在) 三重縣一志郡高茶屋村

種類	性	牝	牡	閹	計
コリデール種		二頭			二頭
計		二頭			二頭

廣島縣種畜場 (昭和六年末現在) 廣島縣比婆郡山内東村

種類	性	牝	牡	閹	計
コリデール種		五〇頭			五〇頭
計		五〇頭			五〇頭

熊本縣種畜場 (昭和六年末現在) 熊本縣菊池郡合志村

種類	性	牝	牡	閹	計
ラムブーイエ・メリノ種		一五頭			一五頭
コリデール種		一〇頭			一〇頭
計		二五頭			二五頭

宮崎縣種畜場 (昭和六年末現在) 宮崎縣西諸縣郡高原村

種類	性	牝	牡	閹	計
メリノ種		五五頭			五五頭
コリデール種		二頭			二頭
計		五七頭			五七頭

宮内省下總牧場 (昭和六年末現在)

千葉縣印旛郡遠山村

種類	性		計
	牝	牡	
メリノ種	五九頭	二〇頭	七八頭
ロムニマーシユ種	一二頭	三頭	一五頭
シユロツプシャー種	四頭	一頭	五頭
雜種	七五頭	二四頭	九九頭
計	一四四頭	四八頭	一九二頭

(五) 本邦内地ニ於テ飼育セラルル緬羊ノ種類

種羊場設置以前ニ於ケル本邦種緬羊ノ供給ハ主トシテ前記下總牧場千本松農場及小岩井農場ノ三場ニヨリテ爲サレ從テ從來本邦各地ニ於テ飼育セラレタル種類ハ主トシテ下總「メリノ」及「シユロツプシャー」(小岩井農場系)ニ限ラレタルノ觀アリタリ政府ニ於テモ亦右二種ノ成績良好ナルニ鑑ミ從來ハ右二種ヲ主トシテ輸入シタルガ一方ニ於テ各種緬羊ヲ輸入シテ其ノ優劣ヲ比較シタルニ「コリデー」種ノ成績良好ナルヲ以テ大正八年度以降濠洲ヨリ毎年多數ヲ輸入シ前二種ト共ニ其ノ仔緬羊ヲ民間ニ配付シツツアリ今最近ノ調査ニ依ル本邦内他緬羊ノ種類別頭數ノ割合ヲ見ルニ左ノ如シ

種類	飼育場所				計	總頭數ニ對スル百分率
	民間道府縣 (昭和六年末調)	農林省 (同上)	宮内省 (同上)	其他官有 (同上)		
メリノ種	一一、一〇四頭	九二九頭	八七頭	三四頭	一一、一五四頭	四九・〇一%
コリデー種	六、〇〇七頭	一、四七〇頭	一三頭	一七頭	七、四九〇頭	三〇・二一%
シユロツプシャー種	一、四〇八頭	四頭	四頭	二頭	一、四三三頭	五・七八%
支那種	三〇頭	一頭	一五頭	二頭	三二頭	〇・一三%
ロムニマーシユ種	九六頭	一頭	一頭	一頭	九九頭	〇・四五%
雜種	三、三五〇頭	四四頭	一頭	一一二頭	三、五〇七頭	一四・一四%
其他	五〇頭	一四頭	一頭	五頭	六九頭	〇・二八%
合計	二二、〇四五頭	二、四六二頭	一〇七頭	一八三頭	二四、七九七頭	一〇〇・〇〇%

備考 一、種類中其他トアルハ「チエビオット」種「オストフリーシヤン」種「ロマノフスキー」種「リンカーン」種「オクスオフォード」種「サウスダウソ」種ヲ含ム

二、其他官有ハ陸軍省文部省鐵道省司法省所有ナリ

(六) 緬羊飼育ノ規模

本邦内地ニ於ケル緬羊ノ飼育ハ農業其他ノ關係上一般ニ小規模ノ經營ヲ可トシ主トシテ農家ノ副業トシテ飼育セラルルヲ以テ少數ノ專業牧場ヲ除クノ外ハ總テ其ノ規模極メテ小ナリ今昭和六年末現在ニ

於ケル飼育頭數ニ依リ飼育者ヲ規模ノ大小ニ分テバ左ノ如シ

飼育頭數	飼育者數	飼育者總數ニ對スル百分率
一頭	二、九八三	四二・三
二頭	二、〇〇八	二八・五
三―四頭	一、三〇六	一八・五
五頭以上	七五一	一〇・七
計	七、〇四八	一〇〇・〇

右ノ如ク本邦ニ於ケル緬羊飼育ハ其ノ規模概シテ小ナルヲ以テ生産物ノ販賣上並種牡緬羊ノ飼育上成ルベク畜産組合或ハ緬羊組合等ノ團體ヲ組織スルガ有利ナルヲ以テ之ヲ獎勵シツツアリ

(七) 蕃殖成績

本邦内地ニ於ケル緬羊ノ蕃殖成績ニ付テハ昭和六年六月一日ヨリ翌七年五月末ニ至ル滿一ケ年間ニ於ケル狀況ヲ見ルト左表ノ如ク配合牝緬羊一〇・五一九頭其ノ生産仔緬羊八、七一五頭ニシテ八割三分ノ蕃殖率ヲ示セリ

道府縣	配合牝緬羊頭數	生産仔緬羊頭數	蕃殖率
北海道	二、三一八	一、八九一	八二
青森	一一八	八八	七三
岩手	八〇一	六一七	七七
宮城	一、三二六	一、〇六七	八〇
秋田	二二二	一三五	六三
山形	七七五	七四五	九六
福島	一、九四二	一、七三四	八九
茨城	六九	六〇	八七
栃木	三六五	二八一	七七
群馬	二五六	一九一	七四
埼玉	一二	一二	一〇〇
千葉	一二三	六七	五三
東京	一	一	一〇〇
神奈川	一五	一七	一一三
新潟	八	四	五〇
富山	八	四	五〇
石川	八	三	三七
福井	八	三	三七

(八) 生産物ノ處置
 綿羊生産物ノ主ナルモノハ仔綿羊及羊毛、羊肉ニシテ其他毛皮及肥料等アリ之ガ價格ト處置方法ノ如

總計	小計	其 他 省 場	宮 内 省 場	種 羊 場	小計	沖 繩	鹿 兒 島	宮 崎	大 分	熊 本	長 崎	佐 賀	福 岡	高 知
一〇、五一九	九三四	六一	六一	八一二	九、五八五	三	一三二	九八	一〇	三六六	六八	三	二	一
八、七一五	八四七	五八	五六	七三三	七、八六八	九七	七一	四	三〇三	四〇	三四			
八三	九一	九五	九二	九〇	八二	〇	七三	七二	三三	八三	五九	一〇〇	二〇〇	一

愛香德山廣岡島鳥和奈兵大京滋三愛靜岐長山
 歌

媛川島口島山根取山良庫阪都賀重知岡阜野梨

三〇六一五八三一三三六六九五一七二九〇七二七〇五

二九一六五七二〇六六四五七三七八七五

六七三〇〇七九一六七五五〇六八五〇〇五九一八〇〇

何ハ飼育經濟上影響スル處少ナカラザルニ依リ生産種牝羊、羊毛、及羊肉ニ對シテハ前記ノ如ク出來得ル限リ補助ヲ與ヘ其ノ購入又ハ販賣ヲ容易ナラシメ負擔ノ輕減並收入ノ増加ヲ計リツツアリ、現在ニ於ケル各種生産物ノ價格及其ノ處理方法ハ次ノ如シ

(イ) 種 緬 羊

近來民間ニ於ケル種緬羊ノ取引狀況ヲ見ルニ牝ハ自家ニテ飼育スルカ或ハ組合ノ規約ニヨリ特定ノ價格ニテ組合員間ニ賣買セラレ又ハ糶市ヲ開キテ賣買セラルルコト等アリテ一般ノ賣買價額ヲ定ムル事困難ナルモ普通種類、性、年齢、體重等ニ依リテ定メラレ成牝一頭三十圓内外、仔牝一頭二十圓内外ニテ取引セラレ牝ハ種用トナルベキ優良ナルモノハ四五十圓以上ナリ

(ロ) 肉 緬 羊

肉用ニ供セラルルハ蕃殖ニ適セザル牝及種牝トナラザル牝及閹緬羊ニシテ從來肉緬羊ノ販賣ニ就キテハ販路狹少價格低廉ナリシ爲飼育者ヲシテ其ノ處理ニ苦シマシメタルコトアレド其ノ後羊肉料理法ノ研究並宣傳、大正十一年度ヨリ昭和六年度迄ノ指定商設置等ニヨリテ東京及地方ニ於ケル需要漸次増加シ生産ノ増進ト共ニ益々其ノ販路ヲ擴張シ肉緬羊ノ賣却代ハ飼育者收入ノ主ナルモノタルニ至レリ

而シテ肉商ノ買入相場ハ肥育ノ程度、年齢、性等ニヨリ價格ニ高低アルハ勿論ナルモ體重、性及年齢ヲ標準トセル東京ニ於ケル一、二羊肉商ノ買入價格ヲ示セバ左ノ如シ

一例、

屠	肉	生	體
上等品	上等品	上等品	一貫四〇
中等品	中等品	中等品	一貫一〇
下等品	下等品	下等品	一貫八〇
外品	外品	外品	一貫六〇
一貫〇ニ付	三〇〇	一貫〇ニ付	
"	二五〇	"	
"	二〇〇	"	
"	一五〇	"	

二例、

屠	肉	生	體
一等品	一等品	一等品	一貫二〇
二等品	二等品	二等品	一貫〇〇
三等品	三等品	三等品	〇・七五
四等品	四等品	四等品	〇・六〇
外品	外品	外品	〇・六〇以下
一貫〇ニ付	三〇〇	一貫〇ニ付	
"	二五〇	"	
"	二〇〇	"	
"	一七〇以下	"	

尙昭和六年度中ニ於ケル各地肉商別肉緬羊買入頭數

羊 肉 商 別	買 入 頭 數		備 考
	生 體	屠 體	
東京市赤坂區田町六丁目一〇	一六五	二一	一八六
松 井 肉 店			
福島市荒町六七	九五		九五
佐 藤(照)肉 店			
仙臺市東一番町七五	六一		六一
佐 藤(宗)肉 店			
北海道札幌市南一條西四丁目六		二七八	二七八
小 谷 肉 店			
熊本市西坪井町三八			
泉 肉 店	一八		一八
北海道小樽市稻穂町八丁目二六			
杉 田 肉 店	二〇	五	二五
盛岡市仁王第五地割茅町一三			
竹 花 肉 店	六〇		六〇
長崎市山里町二八〇			
田 川 肉 店	九		九
大阪市東區横堀二丁目六			
小 林 肉 店	四	一	五
計	四三二	三〇五	七三七

備考一、買入頭數ハ各羊肉商獎勵金交付ノ分ノミヲ示ス

(ハ) 羊 毛

羊毛ニアリテハ生産ノ殆ンド全部ヲ千住製絨所ニ賣却シツツアリ價格ハ同所ニ於テ品質及歩留リヲ鑑
定シテ之ヲ定メ買入價格ハ海外羊毛價格ノ變動ニヨリ時ニ依リ一定セズ十年前ニ於テハ其ノ價格上等
汚毛一封度四十錢内外ナリシガ歐洲大戰以來漸次昂騰シ大正九年ニ於テハ同一封度二圓以上ニ暴騰シ
一頭ノ羊毛代約三十圓ニ達シタルモノアルニ至レリ然ルニ其ノ翌年ニ至リテハ暴落ヲ來シ再ビ戰前ノ
價格ヲ現出セムトスルノ狀況ヲ呈シ飼育者ヲシテ其ノ前途ヲ悲觀セシムルニ至リタルヲ以テ政府ハ茲
ニ産毛獎勵金ヲ交付スルコトトセリ(産毛獎勵金交付ノ項參照)其ノ後モ年ニ依リ多少ノ騰落アリ現
在ハ汚毛一疋一圓乃至二圓ニシテ通常一頭ノ收毛量ヲ三疋乃至五疋トセバ其ノ價格三圓乃至十圓トナ
ルベシ

而シテ羊毛ノ價格タル世界的需給ノ關係ニヨリテ支配セラルルモノナルガ産地收毛ノ豊凶消費國ニ於
ケル經濟事情等ニヨリ其ノ騰落ハ元ヨリ豫期セラレザラテ以テ不況時ニ於ケル對策ヲ講究スルハ頗ル
必要ナルコトナリ殊ニ這般ノ暴落ハ飼育者ニ大ナル刺戟ヲ與ヘ羊毛ノ家庭加工ニヨリ有利ニ其ノ産毛
ヲ處理セントスルモノ漸ク多キヲ加ヘ即チ之ヲ紡ギテ編物用毛絲ヲ造リ或ハ之ヲ織リテ「ホームスバ
ン」ヲ造リ自家用ニ供シテ製品ノ買入ヲ節シ尙進ンデハ之ヲ販賣シテ副業收益ヲ納ムルコトヲ得ルヲ
以テ誠ニ適宜ノ處置ナリト認メ種羊場ニ於テハ紡織ニ關スル研究ヲ行ヒ益々之ガ普及ヲ計リツツアリ

(二) 羊皮

内地生産ノ羊皮ハ脱毛シ皮革トシテ用フル場合少ナク毛皮トシテ使用スルヲ普通トス其ノ賣買ハ未ダ少ナケレドモ外套ノ裏、チヨツキ、小供服又ハ敷物用トシテ相當需要アルヲ以テ之ヲ自家ニテ製鞣スルカ或ハ附近ノ鞣屋ニテ製鞣セシムレバ有利ニ賣却シ得ベク價格ハ緬羊ノ種類及製鞣法ニヨリテ差異アレドモ一枚四、五圓ヨリ二十圓位迄ナリトス寒地ニアリテハ現ニ自家製鞣ヲナシテ使用スル者少ナカラズ

(ホ) 羊肥

羊肥ハ禾穀、蔬菜、桑、煙草等諸種ノ作物ニ用ヒテ肥效著シキヲ認めラレ特ニ煙草、白菜等ニハソノ肥效顯著ニシテ羊肥ヲ得ムガ爲緬羊ヲ飼育スルモノアルノ状態ナリ而シテ其ノ産額ハ飼料蓐草ノ給與量及舍飼ト放牧ノ程度如何ニ依リテ大差アリ嘗テ三十四戸ノ緬羊飼育農家ニ就キ調査セル處ニ依レバキ一頭一ケ年ノ産額ハ最少七十貫最多六百貫ニシテ平均二百四十三貫トス通常羊肥ハ家用ニ供セラレ賣却セラルルコト稀ナリ

(九) 衛生状態

本邦ニ於テ從來最モ普通ナル緬羊ノ疾病ハ胃蟲症ニシテ特ニ連年同一草地ニ放牧セラルルモノニアリテハ其ノ被害激甚ナルヲ見タリト雖近時之ガ驅除法漸ク進ミ被害ヲ輕減シ得ルニ至リタルノミナラズ農家ニ於ケル飼育ハ全然舍飼ニシテ放牧ヲ行フコト稀ナルヲ以テ當初種畜ノ買入ニ際シ該蟲寄生ノ有無ニ注意シ速ニ驅除ノ方法ヲ講ズレバ再ビ其ノ寄生ヲ受クルノ虞ナク其ノ他ノ寄生性疾患モ亦之ト同様ニ舍飼ノ場合ニ於テハ其ノ被害ヲ免カルルコト多シ寄生性以外ノ疾病中比較的頻發スルハ胃腸加答兒、鼓脹症、肺炎、及腰麻痺、腐蹄症ノ如キモノニシテ之等モ多クハ未経験者ガ飼養管理ノ失宜ニ因リ又疾病以外ノ斃死、羊舍及運動場設備ノ不注意ニ依ル不慮ノ傷害等モ亦屢々見ル處ニシテ此等ハ固ヨリ飼育ノ經驗ヲ積ムニ從ヒ防除スルヲ得ベク之ヲ要スルニ注意周到ナル飼育者ニシテ其種畜ヲ内地生産者ヨリ買入レタルモノニアリテハ其ノ衛生状態概シテ良好ナルニ反シ未経験者ニシテ外國特ニ支那地方ヨリ種緬羊ヲ買入レ飼養管理其ノ宜シキヲ得ザルモノニ於テ往々疾病ノ多キヲ見ル

(十) 緬羊飼育ノ經濟

本邦内地ニ於ケル緬羊ノ飼育ハ既ニ述ベタルガ如ク主トシテ農家ノ副業的飼育ニシテ飼育費ノ大部分ヲ占ムベキ飼料ハ各戸農業ノ副産物タル稻藁、豆類ノ莢及ビ其ノ莖葉、甘藷蔓、麥糠、蔬菜類ノ屑、桑葉、野草、蠶沙ノ如キ農家トシテハ殆ド無價格ナルモノヲ以テ之ニ充テ飼養管理ニ要スル勞力モ亦老幼婦女ノ閑時ヲ以テ之ニ當テ得ベキヲ以テ其ノ飼育頭數ヲ各戸ガ自給シ得ベキ飼料及勞力ノ範圍ニ止ムレバ殆ド飼養費ヲ要セザルヲ常トス最近調査シタル處ニ依レバ其ノ自給飼料及勞力ヲ強ヒテ評價スルニアラザレバ收支相償ハザルモノ極メテ少ク概ネ相當ノ利益アリトス唯羊舍其他設備費ニ過大ノ

資本ヲ投ジタルモノ或ハ種緬羊ニ不當ナル高價ヲ拂ヒタルモノニアリテハ資金ノ償却並其ノ利息ヲ計算スルトキハ往々損失ヲ生ジ又疾病其他缺陷アル種緬羊ヲ買入レタルモノ、飼育管理ノ失宜其ノ他ノ原因ニ依リ斃死數多キモノ及仔緬羊生産數ノ少キモノニ於テモ缺損ヲ示スモノアリト雖此ノ如キ例ハ多カラザルノミナラズ注意及經驗ニ依リテ之ヲ改善シ得ベシ

之ヲ要スルニ飼育ノ經濟ニ就テハ以上述べタル如ク周到ナル注意ヲ以テ之ヲ經營スルトキハ特ニ出資ヲ要セズシテ仔緬羊、肉緬羊及ビ羊毛ノ收入ヲ擧ゲ得ベキノミナラズ其ノ羊肥ヲ利用シテ間接ニ利益ヲ得ルコト少カラザルヲ以テ農業ノ副業トシテ有利ナルハ各地ノ實例ニ依リテ明カナリ

四、緬羊飼育ノ將來

本邦ニ於ケル緬羊ノ飼育ハ大體前記ノ如キ經過ヲ取り獎勵開始前ニ懸念セラレタル氣候風土、經營ノ規模、並飼育經濟等ニ關スル幾多ノ問題着々解決セラレ年ト共ニ飼育狀態ノ改善ヲ見生産物ノ處理販賣モ亦次第ニ圓滑トナリ茲ニ北海道、岩手、宮城、山形及福島其ノ他ノ東北地方並九州四國中國ノ諸地方ニ集團的優良飼育地ヲ實現シ、北海道其ノ他ノ地ニテハ大規模經營ノ飼育ヲ新ニ試ミルモノスラ現ハルルニ至リ飼育希望者ハ年々激増シテ種羊場ヘノ拂下出願頭數ノ如キモ拂下可能頭數ノ數倍若ハ十數倍ニ達シ現在ノ施設ニテハ到底之等ノ希望ヲ満足セシメ得ザル狀態トナリ今ヤ新興産業トシテノ基礎漸ク成リ本邦農業經營上重要ナル家畜トシテ益々堅實ナル發達ヲ遂ゲツツアルヲ見ル而シテ從來ノ實績ヲ考察スルニ緬羊飼育ノ長所ハ管理ノ容易ナルコト、其ノ飼料ハ農業經營ノ副産物ニテ足り從ツテ飼料費ノ支出僅少ナルコト、着手ニ當リテ資金ヲ要スルコト少ク而モ其ノ回收速カナルコト、生産物ノ販路確實ナルコト、羊肥ノ利用ニ對スル農家ノ自覺進ミタルコト、大家畜ヲ飼育シ得ザル小農ニモ適スルコト等ナルガ翻ツテ我が國ノ現狀ヲ見ルニ蠶沙及各種作物ノ莖稈或ハ蔓類其ノ他ノ緣肥用作物等ノ如キ緬羊ノ飼料ニ適スルモノ豊富ナルノミナラズ農業經營ノ規模小ニシテ且又現在五百餘萬戸ノ農家中家畜ヲ飼育セザルモノ過半ニ及ブ有様ナルガ故ニ前記ノ資源ヲ利用セバ現在ノ農業經營中ニ

緬羊ヲ加フルノ餘地極メテ大ナルモノアリ將來政府及地方廳等ニ於テ相當獎勵施設ヲ講シ農家亦克ク緬羊飼育ノ意義ヲ諒解シテ銳意之ガ増殖改良ヲ努ムルニ於テハ本邦緬羊ノ前途甚ダ有望ナリト謂フベシ

附表

第一表

世界ノ緬羊頭數ト羊毛産額

國別	緬羊頭數	產毛量
北亞米利加	五三、九〇〇、〇〇〇	四三五、〇〇〇、〇〇〇
合衆國	三、六一〇、〇〇〇	二〇、四〇〇、〇〇〇
加奈陀	九〇、〇〇〇	一九一、〇〇〇
紐トフアウヅランド	五七、六〇〇、〇〇〇	四五五、五九一、〇〇〇
計		
中央亞米利加	三、五〇〇、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇
墨西哥	一五五、〇〇〇	
其他		
南亞米利加	四四、四〇〇、〇〇〇	三三三、〇〇〇、〇〇〇
アルゼンチン	四、一〇〇、〇〇〇	一七四、〇〇〇
ボリヅイア	八、五〇〇、〇〇〇	二四、二〇〇、〇〇〇
ブラジル	四、五九〇、〇〇〇	二六、七〇〇、〇〇〇
智利	六〇九、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
フオークランド諸島	一三、〇〇〇、〇〇〇	一一、一〇〇、〇〇〇
秘露	一四、四〇〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇、〇〇〇
ウルク	七〇〇、〇〇〇	一、四五〇、〇〇〇
エクアドル		

國別	緬羊頭數	產毛量
歐洲	八一〇、〇〇〇	一、二一五、〇〇〇
其他	九二、六〇九、〇〇〇	二、二七〇、〇〇〇
計		
歐羅巴	二七〇、〇〇〇	七七〇、〇〇〇
埃太利	七、五三〇、〇〇〇	二一、六〇〇、〇〇〇
ブルガリヤ	八三〇、〇〇〇	三、二九〇、〇〇〇
チエツコスロバキア	七三五、〇〇〇	二、五九〇、〇〇〇
丁抹	四七九、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
エスソニア	一、四一〇、〇〇〇	四、五〇〇、〇〇〇
フキンランド	一〇、五〇〇、〇〇〇	四三、〇〇〇、〇〇〇
佛蘭西	三、五〇〇、〇〇〇	三二、四〇〇、〇〇〇
獨逸	六、〇〇〇、〇〇〇	一七、六〇〇、〇〇〇
希臘	一、四四〇、〇〇〇	一一、〇〇〇、〇〇〇
ハンガリ	三、五八〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇
アイリツシユ自由國	七、五五〇、〇〇〇	二八、六〇〇、〇〇〇
伊太利	九二三、〇〇〇	二、七七〇、〇〇〇
ラヴアイア	一、二一〇、〇〇〇	三、五六〇、〇〇〇
ラスタニア	二〇〇、〇〇〇	一、二五〇、〇〇〇
白耳義	四八五、〇〇〇	二、四七〇、〇〇〇
和蘭		

備考 第二表 ダルゲテイ羊毛年報(一九三一年—一九三二年)ニ據ル

總計	其計	新西蘭	濠洲	大洋洲	其南阿聯邦	チユロ	モロツコ	埃ルゼリ	アフリカ	亞細亞	其計	土耳古	シリア	
七三一、七五八、〇〇〇	一三五、七〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	二九、六〇〇、〇〇〇	一〇六、〇〇〇、〇〇〇	七八、九八九、〇〇〇	一八、五四九、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	八、五三〇、〇〇〇	一、二四〇、〇〇〇	四、六七〇、〇〇〇	二二六、八九三、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	三、二一〇、〇〇〇
三、七七七、四一八、〇〇〇	一、一二七、〇〇〇、〇〇〇	二六六、〇〇〇、〇〇〇	八六一、〇〇〇、〇〇〇	四三〇、六一五、〇〇〇	一五、六五五、〇〇〇	三三五、〇〇〇、〇〇〇	八、八〇〇、〇〇〇	三〇、九〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	四、九六〇、〇〇〇	三五、三〇〇、〇〇〇	六八五、一〇三、〇〇〇	一、七四六、〇〇〇	一四、一〇〇、〇〇〇

露領亞細亞	波日	イラ	支那	英領印度	アフガニスタン	亞細亞	其計	アールバニア	ユーゴスラヴィア	英吉利	瑞典	西班牙	露西亞	ルーマニア	葡萄牙	波蘭	諾威
一二四、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	三五、〇〇〇、〇〇〇	三五、〇〇〇、〇〇〇	一二六、三一二、〇〇〇	五三五、〇〇〇	一、三八〇、〇〇〇	七、九五〇、〇〇〇	二九、八〇〇、〇〇〇	六三五、〇〇〇	一九、五〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	四、三五〇、〇〇〇	二、三九〇、〇〇〇	一、六三〇、〇〇〇	一、六三〇、〇〇〇
三八四、二五二、〇〇〇	四八、八〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇、〇〇〇	七一、〇〇〇、〇〇〇	五五七、四〇〇、〇〇〇	一、三二二、〇〇〇	三、八七〇、〇〇〇	二六、八〇〇、〇〇〇	一五六、〇〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一〇八、〇〇〇、〇〇〇	四四、〇〇〇、〇〇〇	六、六一〇、〇〇〇	一〇、四〇〇、〇〇〇	五、五五〇、〇〇〇	五、五五〇、〇〇〇

濠洲市場羊毛每一封度最高價格

五〇

Table with columns: 羊次, 脂付羊毛, 年次, and various wool grades like メリノウリス, メリノビーズ, etc. It lists prices for different grades from 1923 to 1932.

第三表

大正七年以降ノ本邦内地ニ於ケル羊毛(汚毛)消費量及人口一人當消費量

Table with columns: 年次, 内地生産額, 輸入額, 輸出額, 移出額, 内地消費額, 人口數, 一人當消費量, and 指數. It shows consumption and population data from 1928 to 1932.

備考

五一

第四表

羊毛、トップ、毛絲、毛織物輸入額

一、本表ハ輸出入及移出ノ毛織物及毛製品ヲ各汚毛量ニ換算シ消費ノ全量ヲ算出セルモノナリ

年次	ト		トップ以外ノ羊毛		合計價格	毛絲毛織物類金額	累計
	數量	價額	數量	價格			
大正七年	三、三七七、七五四	一一、〇四六、六一	四九、四一、四六六	六、二四六、一五七	六、二四六、一五七	一一、〇三三、七七五	七三、七六、九三三
同八年	四、三九七、七三三	一三、七三六、九五九	四七、五七、二八六	六、三〇四、二四五	六、三〇四、二四五	一三、四四八、三四一	七四、七五二、五六六
同九年	三、八四四、四三七	一五、二六、〇八四	一〇六、五〇三、三四七	一一、六九、四五六	一一、六九、四五六	三九、九三、七二二	一六、五六、一七九
同十年	五、五六八、〇〇〇	二二、六五五、〇三四	三、二七、〇〇〇	一九、四七、六六九	三、二〇二、六五三	四七、一七、七九九	一六、五、〇八、四三三
同十一年	七、八九六、二六七	二五、七四五、一九七	六七、四五七、七三三	三九、六二、八一五	五、三三、〇二二	九、九四、一三二	一五、三〇八、四三三
同十二年	一一、二六八、二六七	三三、八八、七二五	五七、七五、〇〇〇	五九、九三、〇一一	八、〇一一、七三六	一一、〇一一、五〇六	二〇二、〇一四、四三三
同十三年	一〇、七八五、六〇一	二六、二八〇、七二七	五九、五三、三五五	六、七五九、八八七	八、〇五〇、六四四	二七、一八、六、三六〇	二二五、三六、九七四
同十四年	一一、四七七、六〇三	三三、八九一、四三四	七〇、四五、〇六七	六、七八二、〇九二	一一、〇七三、五五五	二四、六〇〇、二五一	三三、七〇三、七六六
昭和元年	八、五四七、八六六	一八、〇〇四、五七六	七三、〇五四、三四四	六、〇一九、五八二	六、〇〇四、一六〇	六、三三、六四五	一四八、三、八〇五
同二年	五、九六七、四六六	一一、五九、八九四	九九、三六、九三四	九、〇四六、八八九	一一、〇六七、七三〇	七、七、五〇〇	一八〇、四五、二六三
同三年	一、七五六、〇一一	三、四三六、五八四	一一五、六九六、九三四	一一、八三三、七〇九	一一、八三三、七〇九	三、九三、一八五	一七五、八〇四、四七六
同四年	七〇七、一〇〇	一、四二、六七四	一〇七、九四八、六六八	一〇〇、六三、五三二	一〇一、八二五、八五	三九、一〇〇、九二四	一四一、〇一六、七五〇
同五年	五、七八六、七	一六、八二六	一一五、五六〇、〇一一	七三、五四九、五四四	七三、五六〇、〇一一	二五、八七、四〇〇	九、四七、七三〇
同六年	一四九、〇六六	一四、三七三	一九〇、五七一、六〇一	八六、〇二、三四三	八六、〇二、三四三	二二、六五、六四六	一〇八、八三、三五三

第五表

内地産毛量ノ輸入羊毛及消費總量ニ對スル割合(汚毛)

年次	内地生産	輸入羊毛		消費總量	内地生産ノ消費總量ニ對スル割合		備考
		數量	價額		數量	割合	
大正七年	二二、〇六〇	四八、三七九	七、八二	五三、七六六、八二〇	〇、〇〇〇四五	〇、〇〇〇四一	一、輸入羊毛ニハ「トップ」ヲ含マズ
同八年	二九、〇四三	五、三七六、八〇〇	〇、〇〇〇五六	五八、九〇二、八三六	〇、〇〇〇五六	〇、〇〇〇四九	二、消費總量ハ第三表參照
同九年	四二、一八六	七、一三四、九九九	〇、〇〇〇五九	一〇一、八二二、二九四	〇、〇〇〇五九	〇、〇〇〇四一	
同十年	五、五六八	三〇、一二七、六〇〇	〇、〇〇一七二	七、九三四、四八二	〇、〇〇一七二	〇、〇〇〇六六	
同十一年	六三、七七二	六七、四五七、七三三	〇、〇〇〇九三	一五九、六〇八、〇五一	〇、〇〇〇九三	〇、〇〇〇三九	
同十二年	七三、八三六	五七、七七五、二〇〇	〇、〇〇一三八	一三五、四〇二、二二九	〇、〇〇一三八	〇、〇〇〇五四	
同十三年	一〇四、六五〇	五九、五三三、三五五	〇、〇〇一七六	一五九、一三七、四五三	〇、〇〇一七六	〇、〇〇〇六六	
同十四年	一〇九、九七〇	七〇、一四五、〇六七	〇、〇〇一五七	一七九、五〇一、二八五	〇、〇〇一五七	〇、〇〇〇六一	
昭和元年	一一、五五三	七三、〇五四、一三四	〇、〇〇一六六	一三〇、三九〇、三六〇	〇、〇〇一六六	〇、〇〇〇九三	
同二年	一一、五三〇	九九、三三八、九三四	〇、〇〇一六六	一六四、一〇〇、七〇七	〇、〇〇一六六	〇、〇〇〇七六	
同三年	一三、五三七	一一五、六九六、九三四	〇、〇〇一四四	一五七、〇六六、二九一	〇、〇〇一四四	〇、〇〇〇八四	
同四年	一三六、四六五	一〇七、九四八、六六八	〇、〇〇一三六	一三〇、八一、九九〇	〇、〇〇一三六	〇、〇〇一〇四	
同五年	一四五、〇九六	一一五、五六〇、〇〇一	〇、〇〇一三六	一二九、七七〇、七七〇	〇、〇〇一三六	〇、〇〇一一一	
同六年	一六五、九一四	一九〇、五七一、六〇一	〇、〇〇〇八七	二〇五、〇九八、七四六	〇、〇〇〇八七	〇、〇〇〇八一	

第六表

羊肉生産量及輸入量並其ノ價格

年次	生産量		輸入量		備考
	數量	價額	數量	價額	
大正七年	六、六五〇 _斤	二、九三三 _円	五、〇八八 _斤	一、八六五 _円	一、生産量ハ農林省統計 輸入量ハ各税關ノ報告ニ據ル 一、輸出ハナシ
同八年	五、四四七	二、九一三	七、六三三	四、二七七	
同九年	一、六七五	五、八〇四	一五、三一六	八、二四四	
同十年	八、四三九	三、八六四	二二、八三七	八、二九五	
同十一年	一二、七一九	九、五八七	二七、七九〇	一〇、五七四	
同十二年	七、三五六	四、六八〇	一五、七四二	五、九六七	
同十三年	八、四一五	五、五七六	九、九〇六	三、四七四	
同十四年	一〇、一五〇	六、五三九	一一、〇一六	五、三三五	
昭和元年	七、三三八	五、二九八	三七、八〇四	一四、七二八	
同二年	一二、六八八	六、六八二	四六、四二七	一七、七三七	
同三年	一九、三二五	一一、六七二	三六、五〇〇	一九、〇九八	
同四年	二七、六三八	一六、四二二	三四、九一二	一七、七三七	
同五年	三九、五九四	二〇、八二七	六三、五八七	二八、一七九	
同六年	三八、三一九	一七、二六四	六〇、七五六	一八、〇七五	

昭和八年七月十一日印刷
昭和八年七月十四日發行

農林省畜産局

東京市京橋區横町二丁目七番地ノ六

印刷者 小松善作

東京市京橋區横町二丁目七番地ノ六

印刷所 小松印刷所

電話京橋(二六六六番
六五〇六番)

卷之六

甲辰年十一月

甲辰年十一月

農林省

甲辰年十一月

604
351

